

II 府政改革の理念

府民・地域の総力で大阪再生

市町村、府民、NPO など、あらゆるプレイヤーが自由に活躍できる環境整備

地域主権を率先して実現していくため、地域や住民にできる分野については、より現場に近く、多様できめの細かいサービスが期待できる市町村や府民、NPO など、あらゆるプレイヤーが自由に活躍できる環境整備をすすめます。

その際には、個人が自己決定と自己責任のもとで、その力を発揮し、活躍できるように、セーフティネットの構築や情報公開などの環境整備を図るとともに、府民一人ひとりがお互いの人権を尊重し、支えあっていく社会づくりに取り組んでいきます。

財政体質・経営体質を改善し、最高のコストパフォーマンスを有する小さな政府へ構造転換

府が担うべき役割を見据え、府自身も少数精鋭のシンクタンク集団となるべく、高い生産性を確保しつつ組織のスリム化を図るとともに、地域づくりのコーディネーターにふさわしい優れた企画立案能力を有する経営体質へと改善します。

また、慢性的な赤字が続く財政体質を改善し、自立した持続可能な財政基盤を確立していきます。

府民の参画と適正な負担のもとで、暮らし満足度を最大化

府が担うべきサービスを、府民の参画と適正な負担のもと、生活者の視点から必要性や内容を精査するなど府民の納得が得られるかを十分に見極め、府民の暮らし満足度を最大化していきます。

✚ 府の姿勢

- 限りある資源の選択と集中で府が担うべき役割をしっかりと果たします。
- 本府自身による不断の行財政改革の取組をすすめます。
- 国に対して実効ある行財政制度の確立を強く迫っていきます。

これらの取組により大阪再生と財政再建をめざします。

持続可能な地域・自治体経営モデルを発信し、日本の再生をリード